

**平成 29 年度
清水町社会福祉協議会事業報告書**

社会福祉法人 清水町社会福祉協議会

平成 29 年度清水町社会福祉協議会事業報告

平成 29 年度の清水町社会福祉協議会は、平成 28 年度に行われた清水町福祉センター大規模改修工事により、事業部門の事務所が統合され、ワンフロアとなったことから、ワン・ストップ相談が可能となりました。

また、リニューアルされた福祉センターは、相談室が増設され、会議室、多目的ホールにおいても多くの町民の皆様にご利用いただけるようになりました。

事業においては、平成 25 年度から推進してきた第 4 次清水町社協地域福祉活動計画が最終年度であったことから、平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間の事業を振り返り、評価反省を行ったうえで、新たに第 5 次清水町社協地域福祉活動計画を策定しました。

地域社会や家族変化等を背景に生活・福祉課題が多様化・複雑化しており、少子高齢化の進行に伴う地域包括ケアシステムの確立や介護予防の充実、生活困窮者の支援など新たな課題に対し、見守り支え合い活動の推進、日常生活自立支援事業の強化、生活困窮者への包括的相談を行いました。

また、福祉センター会館管理事業、地域包括支援センター事業、放課後児童健全育成事業ほか、町からの受託業務及び介護保険事業、就労継続支援 B 型事業の経営事業においても円滑な運営を行い、住民の社会福祉の増進とサービスの向上に努めました。

1. 事務局事業

○ 理事会・評議員会の開催

〈理事会〉

第 1 回	平成 29 年 5 月 26 日 (金)
第 2 回	平成 29 年 6 月 26 日 (月)
第 3 回	平成 29 年 9 月 26 日 (火)
第 4 回	平成 30 年 3 月 22 日 (木)

〈評議員会〉

第 1 回	平成 29 年 6 月 23 日 (金)	(定時評議員会)
第 2 回	平成 29 年 10 月 6 日 (金)	
第 3 回	平成 30 年 3 月 29 日 (木)	

○ 啓発活動

社協の業務パンフレット、福祉センター会館パンフレット、ボランティア紹介パンフレット、社協だより、社協ホームページ、地域包括ケアシステム啓発用クリアファイル及びポケットティッシュ等を活用して、社協の行事案内、事業報告、福祉情報の提供、福祉への理解、福祉センターの利用促進、住民の福祉活動への参加など、啓発活動を図った。

○ **社協だよりの発行**

町民に対する福祉啓発を促進するため、『社協だより』を3回発行した。（全戸配布）

発行日	平成29年6月15日発行	第117号
	平成29年9月15日発行	第118号
	平成30年2月1日発行	第119号

○ **第20回町社会福祉大会の開催**

7月21日、社協役員、民生委員児童委員、ボランティア、各種福祉関係者等約120名の参加のもと、社会福祉大会が盛大に開催され、社会福祉への功労者に対し顕彰を行った。また、第2部では、沼津市の劇団きらり8020ぬまづを招き、『最期は、家族に見守られて』と題し、演劇の上演を行った。

○ **第39回町ふれあい広場の開催**

子どもから高齢者まで、障害のある方、ない方も参加する福祉の集いとしてふれあい広場を開催した。

平成29年9月12日	ふれあい広場実行委員会（第1回）
10月17日	ふれあい広場実行委員会（第2回）
11月18日	前日の準備
11月19日	ふれあい広場当日
12月18日	ふれあい広場実行委員会（第3回）

○ **第5次清水町社協地域福祉活動計画の策定**

地域福祉活動推進に向け、平成30年度から平成34年度までの5年間の計画期間とする「第5次清水町社協地域福祉活動計画」を策定した。

平成29年9月28日	第5次清水町社協地域福祉活動計画策定委員会（第1回）
12月22日	第5次清水町社協地域福祉活動計画策定委員会（第2回）
平成30年2月8日	第5次清水町社協地域福祉活動計画策定委員会（第3回）
3月26日	第5次清水町社協地域福祉活動計画策定委員会（第4回）

○ **区長会・民生委員児童委員協議会との連携**

区長・民生児童委員との協力関係を確立し、協力依頼、情報交換、情報提供等を行った。

○ **福祉団体に対する支援**

当事者団体の組織の強化と支援を目的に、下記の当事者団体の活動について、自主性を尊重しながら、事務や活動の支援を行った。

（支援福祉団体名）

【清水町シニアクラブ連合会】 【清水町手をつなぐ育成会】 【清水町身体障害者福祉会】
【清水町ひとり親の会】 【清水町遺族会】 【清水町清霊奉賛会】

○ 社協登録ボランティアへの支援

ボランティア活動を始めたい人（団体）、ボランティアを必要としている人（団体）へボランティア活動をする上での相談に応じた。また、登録ボランティアの育成及び活動に対する調整を行った。

○ 清水町ボランティア連絡会登録数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

清水町ボランティア連絡会登録ボランティアグループ数	19 グループ
ボランティア連絡会登録数	305 人

○ 清水町社協登録ボランティア数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

清水町社協登録ボランティアグループ数	20 グループ	315 人（延べ人数）
個人ボランティア数		8 人
計		323 人（延べ人数）

○ 清水町ボランティア連絡会の活動支援

ボランティア活動が円滑にすすめられるよう、また、グループ同士の情報交換、ニーズ把握、需給調整の場としてボランティア連絡会（代表者会議）を支援した。

〈ボランティア連絡会の主な行事〉

- ① 交流情報交換 ② 育成研修 ③ 関係機関、団体との連携（当事者団体、施設との懇談）
④ 調査・研究 ⑤ 高齢者支援ネットワーク連絡調整会議への参画

代表者会議	年 5 回
役員会	年 5 回
総会	年 1 回
介護予防ボランティア養成講座への協力	平成 29 年 7 月 28 日 10 月 19 日
ボランティア交流会	平成 29 年 10 月 5 日
東部ボランティア研究集会への参加	平成 30 年 1 月 6 日

○ ボランティアグループへの活動助成

ボランティア活動中の不慮の事故に備え、安心してボランティア活動ができるよう、社協登録ボランティアに対し、ボランティア活動保険料を助成した。

また、円滑な活動ができるようボランティアグループへ活動費を助成した。

平成 30 年 3 月末日までの ボランティア保険への助成 (社協負担のみ)	296 人	106,150 円
---	-------	-----------

○ 福祉教育の推進（助成金交付）

児童・生徒へ思いやりや、やさしい心遣いを理解していただくため、町内の小・中学校を当社協指定の福祉教育実践校として位置づけ、福祉教育事業を推進した。

また、各指定校においては、各学校単位で総合的な学習や体験学習などに取り組み、社協は活動プログラムの提供や関係機関との調整などで協力した。

学校名	福祉教育実践校事業助成金として
清水小学校	50,000 円助成する。
南小学校	50,000 円助成する。
西小学校	50,000 円助成する。
清水中学校	50,000 円助成する。
南中学校	50,000 円助成する。

○ 福祉教育の推進（体験学習の充実）

小・中学校の夏休みを利用して、体験プログラムを幅広く開催した。

小学生

行事名	開催日	参加人数				
		清水小学校	南小学校	西小学校	保護者	合計
認知症サポーター養成講座 及び車いす体験	7月26日	0人	7人	2人	3人	12人
手話ミニミニ講座	7月31日	3人	10人	8人	8人	29人
点字ミニミニ講座	8月4日	1人	10人	2人	3人	16人
災害時ホームアローン講座	8月10日	3人	17人	5人	7人	32人

中学生

行事名	開催日	参加人数		
		清水中学校	南中学校	合計
福祉センター内柿田川作業所	8月21～25日 (計5日)	参加者なし	延べ6人	延べ6人
放課後児童教室(清水小学校教室)	8月21～25日 (計5日)	延べ2人	参加者なし	延べ2人
放課後児童教室(南小学校教室)	8月21～25日 (計5日)	参加者なし	延べ10人	延べ10人

放課後児童教室（西小学校教室）	8月21～25日 （計5日）	延べ2人	参加者なし	延べ2人
-----------------	-------------------	------	-------	------

○ **安心地域ささえあいネットワーク事業の推進**

要援護者の自宅を訪問し、声掛け、見守り、ささえあい活動を通じて、要援護者の安否確認、課題発見とその対応及び制度で解決できないニーズの把握等を行った。

登録者	38名
地域支援員	8名

○ **町シニアクラブ連合会の活動支援**

清水町シニアクラブ連合会が自主的に行った下記事業、活動に対し、側面的な支援を行った。

平成29年5月18日	グラウンドゴルフ大会
6月29日	輪投げ大会
8月22日～23日	文化祭
9月20日	ペタンク大会
平成30年1月26日	新春演芸大会
2月4日	スポーツ大会（吹き矢・ペタボート）

○ **シニアセンター『センター利用日』利用人数**

毎月4日間、シニアセンターかわせみホールで開催している『センター利用日』へ参加者の送迎（マイクロバス送迎）を行った。

（延べ利用者数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
53人	66人	63人	37人	60人	69人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
75人	79人	83人	73人	44人	74人	776人

○ **社会福祉協議会の会費**

社協の財源は、町民の方々に会員になっていただく一般会費、法人会費、町補助金、委託金、並びに共同募金からの配分金及び善意の寄付金などで事業運営を図っている。社協会費については、区長会の協力を得て、毎年5～8月にかけて、会員の増強及び会費の集金をお願いした。

一般会費	3,396,200円
法人会費	555,500円
計	3,951,700円

○ 共同募金運動・赤十字運動

1) 赤い羽根の共同募金運動

共同募金運動は、地域福祉の推進を目的とする多様な活動を、財源面から支援する役割を果たしている。清水町においても自治会、民生委員児童委員、ガールスカウト等の協力を得て、以下の募金額を集めることができた。また、街頭募金の実施については下記のとおり実施した。

一般募金及び街頭募金	2,822,346 円
法人募金	499,000 円
計	3,321,346 円

街頭募金 日 時 平成 29 年 10 月 2 日

会 場 ● 大東紡エステート(株) サントムーン柿田川

● エンチョー(株) ホームアシスト ● 食遊市場

● カドイケ 徳倉店 ● マックスバリュエクスプレス清水町徳倉店

2) 歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、12月1日から同月末日までの期間に、民生委員児童委員の協力により実施され、各方面より格別なる協力を得て多額の援護金が寄せられた。これらの浄財は、要援護者へ共同募金会の配分決定に従い、厳正な配分を行った。

歳末募金額	1,915,808 円
-------	-------------

3) 日赤会費の募集

日本赤十字社清水町分区事業の事務を受け持つ社会福祉協議会では、赤十字の“人道・博愛”の理念と思想に基づき、日赤会費の募集を実施し、赤十字活動の普及・推進に協力した。なお、集まった会費は日本赤十字社静岡県支部へ送金した。

一般会費	4,548,050 円
法人会費	318,500 円
計	4,866,550 円

○ 福祉総合相談状況

1) 総合相談・・・(開設時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00)

※ 相談は継続相談も含まれる。

※ 高齢者在宅介護相談・介護保険関係は、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所において相談受け及び対応をした。

※ 障害者相談は、相談支援事業所の障害者総合相談で受け及び対応をした。

相 談 内 容	受付件数
心配ごと	4
ボランティア関係	15
福祉体験	0
生活・貸付相談	4
結婚相談	0
福祉サービス	1
苦情（会館管理含む）	0
その他	1
合 計	25(ケース)

○ 生活福祉資金の貸付（県社協受託事業）

生活困窮者に対し、経済的な自立を目的とした生活資金や就学資金等の貸付及び償還指導業務を実施した。

県社協生活福祉資金申込み承認のケース（平成30年3月末日までの貸付）

貸付資金名		貸付件数	貸付額合計
福祉資金	緊急小口資金	—	0円
	転宅費	—	0円
総合支援資金	生活支援費	—	0円
	住居入居費	—	0円
教育支援資金	就学支度費	—	0円
	教育支援費	—	0円
臨時特例つなぎ資金		1	30,000円
合 計		1	30,000円

○ 小口資金の貸付（町社協独自事業）

生活困窮者に対し、緊急または不時の出費を要するため、困窮している場合に、資金を貸付け、自立更生の助けになるよう償還指導業務を実施した。

（平成30年3月末日までの貸付）

貸付件数	貸付額合計
1	50,000円

○ 日常生活自立支援事業相談（県社協受託事業）

判断能力が不十分な人が家庭や地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、通帳や証書等の管理を本人の意思を尊重しながら支援した。

（平成30年3月末日現在）

本事業相談・支援件数	138件
契約締結数	0件

実働件数	4件
相談・支援体制	専門員1名、生活支援員2名

○ 生活困窮者自立相談支援事業（県受託事業）

平成27年4月から「生活困窮者自立支援制度」が始まり、生活困窮者自立相談支援事業の実施主体である静岡県から自立相談支援機関として委託を受け、利用者の同意に基づき、生活に困窮する人が地域で自立した生活が送れるよう関係機関と連携を図りながら適切なサポートを行った。

(平成30年3月末日現在)

相談受付件数（本人同意がない場合も含む）	32件
申込件数（本人同意ありのみ）	28件
3月31日現在の利用者数	14人
相談・支援体制	相談員2名
生活困窮者支援調整会議	7回
ケース検討会議	5回

○ 災害ボランティア本部立ち上げ訓練の実施

災害が起きた場合に、被災者・被災地を支える多数のボランティアが全国各地から駆け付け、多様なニーズにあわせて、活動することが予想されるため、災害ボランティアコーディネーターの協力を得て災害ボランティア本部立ち上げ訓練を実施した。

災害ボランティア本部立ち上げ訓練	平成29年9月3日 (いたばし総合ボランティアセンター・世田谷大切な人を守りたい(東京都)の2団体と連携した。 《会場：県立沼津商業高等学校》
------------------	---

○ 町手話通訳者派遣事業（町受託事業）

聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者が健聴者との意思の疎通を図る目的で、手話通訳者派遣に関するコーディネートを行った。

手話通訳者数（有資格者） 7名（清水町外在住者6名・清水町在住者1名）

派遣対象の利用者数 5名（清水町在住者）

内訳

生命・健康	9件
官公署	1件
職業	13件
教育	0件
教養・自己	3件

住居	0件
地域生活	0件
団体活動	11件
その他	5件
コーディネート合計数	42件

○ 町要約筆記者派遣事業（町受託事業）

聴覚障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、要約筆記者派遣に関するコーディネートを行った。

要約筆記者（有資格者） 8名 （清水町外在住者7名・清水町在住者1名）
 コーディネイト合計数 1件

2. ふれあい・いきいきサロン事業（町受託事業）

予防的なサービスを必要とする高齢者を対象に、地域の公民館を活用し、ボランティア・関係機関の協力を得て、『ふれあい・いきいきサロン』を開催し、小地域のネットワークを図った。効果として公的サービスでない自立者支援の住民主体のふれあいの場をつくることができた。

年 月 日	実施場所	参加人数等	実施内容
平成29年4月17日	新宿区公民館	高齢者32名・協力者5名	尺八演奏・民謡・輪投げ他
4月27日	久米田区公民館	高齢者19名・協力者6名	歌謡ショー・輪投げ・消費生活講座他
5月19日	本長沢区公民館	高齢者16名・協力者12名	体操・紙芝居・カラオケ他
5月31日	柿田区公民館	高齢者36名・協力者31名	体操・防犯講話・マンドリン演奏他
6月16日	上徳倉区公民館	高齢者86名・協力者48名	交通安全教室・音楽隊演奏会・防災講座他
6月20日	防災センター	高齢者36名・協力者22名	ヨガ教室・大正琴演奏他
7月3日	伏見区公民館	高齢者29名・協力者12名	歌謡ショー・ビンゴ・消費生活講座他
7月13日	シニアセンター	高齢者34名・協力者8名	栄養講座・歌謡ショー他
8月25日	下徳倉区公民館	高齢者38名・協力者7名	体操・ハーモニカ演奏・歯の健康講座他
8月30日	長沢区公民館	高齢者31名・協力者17名	交通安全教室・フラダンス・カラオケ他
9月22日	八幡区公民館	高齢者21名・協力者20名	体操・紙芝居・マンドリン演奏他
9月27日	玉川区公民館	高齢者15名・協力者19名	三味線演奏・民謡・ヨガ教室他
10月12日	戸畑区公民館	高齢者23名・協力者15名	防災講座・大正琴演奏他
10月25日	外原区公民館	高齢者21名・協力者21名	フラワーアレンジメント・消費生活講座他
11月8日	新宿区公民館	高齢者31名・協力者5名	歌謡ショー・交通安全教室他
11月22日	防災センター	高齢者36名・協力者18名	歌謡ショー・劇・栄養講座他
12月8日	上徳倉区公民館	高齢者71名・協力者39名	ジャグリングショー・マンドリン演奏他
12月19日	シニアセンター	高齢者25名・協力者11名	体操・三味線演奏・民謡他
平成30年1月11日	伏見区公民館	高齢者23名・協力者15名	交通安全教室・フラダンス他
1月23日	柿田区公民館	高齢者24名・協力者24名	紙芝居・大正琴の演奏他

2月16日	下徳倉区公民館	高齢者 38 名・協力者 17 名	歌謡ショー・消費生活講座他
2月23日	八幡区公民館	高齢者 23 名・協力者 13 名	フラワーアレンジメント・三味線演奏他
3月8日	外原区公民館	高齢者 21 名・協力者 15 名	ハーモニカ演奏・交通安全教室他
3月20日	長沢区公民館	高齢者 42 名・協力者 18 名	防犯講話・カラオケ・輪投げ他

いきいきサロン回数	24 回
利用者数	771 人
一回あたり平均	32 人
延べ協力者数（ボランティア・民生児童委員等）	418 人
サロン参加合計数	1,189 人

3. 福祉センター会館管理事業（町受託事業）

○ 福祉センター会館管理運営事業

福祉センターは平成 27 年 4 月から 5 年間、町から「指定管理者」として会館管理事業を受託運営している。福祉センターは、平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月まで大規模改修工事を経て、平成 29 年 4 月より再開され、住民の社会福祉を増進するため、福祉センターの効率的な運営とサービス向上に努めた。

区分	施設名	開館日数(日)	利用者数(人)
福祉センター	多目的ホール	307	7,625
	会議室等	328	9,919
	児童館	293	3,188
	地域活動支援センター	240	605
	喫茶せせらぎ	169	2,891
	小計		24,228
シニアセンター	かわせみホール	298	5,000
	和室等	304	2,847
	小計		7,847
柿田川作業所	柿田川作業所	247	4,100
	小計		4,100
合 計			36,175

○ 福祉センター内居場所づくり

リニューアルされた福祉センターにおいて、高齢者の居場所づくりの一環として、体操教室、手芸教室、カラオケの日等を開催し、高齢者の健康づくり、仲間づくりの場をつくった。

1) 体操教室（Aグループ）の開催

開催場所	福祉センター会議室 ①
開催数等	年間 39 回（毎週水曜日 90 分程度の運動）
利用者数	述べ人数 1,019 人
1 回あたりの参加人数	26 人

2) 体操教室（Bグループ）の開催

開催場所	福祉センター 多目的ホール
開催数等	年間 33 回（毎週水曜日 90 分程度の運動）
利用者数	述べ人数 859 人
1 回あたりの参加人数	26 人

3) 手芸教室の開催

開催場所	福祉センター 会議室 ④
開催数等	年間 6 回（7 月～12 月までの月 1 回）
利用者数	述べ人数 60 人
1 回あたりの参加人数	10 人

4) カラオケの日の開催

開催場所	福祉センター 多目的ホール
開催数等	年間 11 回（月 1 回）
利用者数	述べ人数 144 人
1 回あたりの参加人数	13 人

5) 囲碁・将棋を楽しむ会の開催

開催場所	福祉センター 会議室 ⑤
開催数等	年間 47 回（毎週土曜日の午後開催）
利用者数	述べ人数 316 人
1 回あたりの参加人数	7 人

4. 放課後児童健全育成事業（町受託事業）

町内の3小学校の1年生から6年生までの児童の中で、放課後に保護者が共働きの児童に対し、保護・指導を行った。

○ 清水小学校（指導員数 4名）		（平成30年3月31日現在）	
・開所日数 （内、夏・冬・春休みの開所日数35日）	237日	児童数	1年生 男15人
・延べ出席者数	12,351人		1年生 女13人
・1日平均利用者数	52人		2年生 男12人
			2年生 女11人
・長期休み延べ出席児童数	1,443人		3年生 男8人
・1日平均出席児童数	41人		3年生 女5人
・土曜開所日数	43日		4年生 男2人
土曜延べ出席者数	438人		4年生 女0人
		計	66人

○ 南小学校（指導員数 3名）			
・開所日数 （内、夏・冬・春休みの開所日数34日）	238日	児童数	1年生 男15人
・延べ出席者数	12,710人		1年生 女18人
・1日平均利用者数	53人		2年生 男15人
			2年生 女9人
・長期休み延べ出席児童数	1,465人		3年生 男2人
・1日平均出席児童数	43人		3年生 女8人
			4年生 男0人
			4年生 女2人
		計	69人

○ 西小学校（指導員数 4名）			
・開所日数 （内、夏・冬・春休みの開所日数35日）	237日	児童数	1年生 男10人
・延べ出席者数	13,298人		1年生 女18人
・1日平均利用者数	56人		2年生 男17人
			2年生 女10人
・長期休み延べ出席児童数	1,505人		3年生 男6人
・1日平均出席児童数	43人		3年生 女8人
			4年生 男0人
			4年生 女2人
		計	71人

○ 土曜日の開所状況
(清水小学校で合同開催)

土曜日 3 小学校合同開所日数	43 日
延べ出席者数	438 人
1 日平均利用者数	10 人

○ ボランティアの協力

8 月 21 日(月)～25 日(金)	夏休み中学生ボランティア (3 小学校)
---------------------	----------------------

○ 職員研修

平成 30 年 2 月 14 日(水)	子ども支援セミナー (三島市)
---------------------	-----------------

○ その他

※ 3 校指導員は、毎月 1 回の合同ミーティングを行った。

5. 地域包括支援センター事業（町受託事業）

清水町地域包括支援センターは、包括的支援事業の実施にあたっては、高齢者の心身の状況・環境等を考慮し、専門知識を生かして常に高齢者の立場に立った支援を行い、高齢者の意思及び人格が尊重され、高齢者の選択に基づき、福祉保健医療機関との連携を図り、総合的・効率的にサービスが提供されるよう公正中立の立場で調整を行った。平成29年度は、認知症施策を推進するため認知症初期集中支援チーム伝達研修・認知症地域支援推進員研修・キャラバンメイト（認知症サポーター養成講師）養成研修など受講した。また、清水町高齢者支援ネットワークを活かし、介護職員向けの「研修会～地域包括ケアシステムの中での回復期リハビリ病棟の役割を考える～」（36名参加 NTT 東日本伊豆病院）を駿東田方地域リハビリ推進事業と共催した。

高齢者の実態把握のため臨時職員1名を2ヶ月間配置した。また、在宅福祉サービスの更新申請を代行するため、臨時職員1名を2ヶ月間配置した。

○ 主な事業

事業	内容	回数等
総合相談	・介護方法・介護機器・福祉サービス・介護予防サービス等の相談に対して助言・指導・サービス調整などを行った。また、必要に応じて、専門性を活かし3職種が協働してケースに対応した。	2,230件
実態把握	・臨戸訪問して159名実態把握を行った。 ・総合相談や介護予防・生活支援事業の申請代行時など必要に応じて実態把握を行った。	805件
介護予防プラン作成	・要支援1・2の者と事業対象者が状態を改善・維持するために介護予防プランを作成した。居宅介護支援事業所に作成を依頼したプランは指導管理した。	379件
在宅福祉サービス利用調査	・高齢者在宅福祉サービス（配食・紙おむつ給付等）の提供を決定するための調査を行った。	189件
啓発事業	・支援センターニュース（第19号11/15発行は認知症の人への対応・第20号3/15発行は介護者のつどい等事業案内）を発行し、全戸配布した。 ・職員氏名や事業案内を記載したパンフレットを作成し、訪問時やイベント時に配付した。 ・支援センターニュースを町内の医療機関・歯科医院・薬局の待合室と町の施設にバックナンバーとともに置いた。 ・保健委員会、シニアクラブ友愛訪問員研修、認知症サポーター養成講座等で地域包括支援センター事業を案内した。 ・各公民館に地域包括支援センターパンフレットを掲示した。	2回発行
高齢者支援ネットワーク	職種ごとの連絡会を開催した。また、行政と連絡会代表者の連絡調整会議を開催した。	【別表1】

権利擁護に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止対策会議・地域ケア個別ケース会議を設置し、虐待通報を受理した際は速やかに事実確認を行い、関係者と対応を協議した。（6件） ・消費者被害の対応は町消費生活センターと連携し対応した。（1件） ・判断能力が低下している高齢者には日常生活自立支援事業や成年後見制度を案内した。（15件） 	22件
ケアマネジャー支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー連絡会において各種情報提供等を行った。 ・困難ケースをケアマネジャー等と協働で対応した。 ・主任ケアマネジャーの協力を得てケアマネジャー等を対象に勉強会を行った。 	連絡会 12回 53件 3回・65名
在宅介護者のつどい	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換や交流に加えて、介護教室（簡易認知症検査・消費者被害・ストレスケア・成年後見）・リフレッシュ（レク体験・お茶会・ヨガ教室）・施設見学（サービス付き高齢者住宅）を行った。 ・年間の参加者は77人であった。 	12回
研修	職員の資質向上のために研修を受講した。	〔別表2〕
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険適用外の在宅者に車いすを貸与した。 ・地域密着型サービス運営推進会議（9事業所）に出席した。 	44件 22回

〔別表1〕

連絡調整会議 3回

連絡会 40回

連絡会名	回数
行政・地域包括支援センター連絡会	4回
ケアマネジャー連絡会	12回
ホームヘルプサービス連絡会	3回
デイサービス・デイケア連絡会	3回
施設入所・ショートステイ連絡会	3回
ボランティア連絡会	3回
民生児童委員協議会定例会	12回

〔別表2〕

研修名	日数
清水町・長泉町在宅医療ネットワーク研修	1日間
認知症初期集中支援チーム員伝達研修	1日間
成年後見制度利用促進セミナー	1日間
多職種連携リーダー研修	1日間
駿東田方リハ推進事業研修会	1日間
駿東田方認知症研修会	1日間
介護予防ケアマネジメント実務者研修	1日間
地域包括支援センター等職員研修	1日間
生活保護制度研修	1日間
認知症研修会	1日間
地域包括支援センター管理者研修	1日間
キャラバンメイト養成研修	1日間
認知症サポーターステップアップ講座指導者養成研修	1日間
認知症地域支援推進員研修	2日間
主任介護支援専門員更新研修	8日間

6. 就労継続支援B型事業 柿田川作業所（経営事業）

○ 利用者構成（平成30年4月1日現在）＊重複障害の場合は主障害で記入

	年齢 障害	～19	20～29	30～39	40～49	50～	計
	男	身体障害					1
知的障害			2		4	4	10
精神障害等			1				1
女	身体障害				1		1
	知的障害		3	1	2	1	7
	精神障害等				1		1
計			6	1	8	6	21

定員20人（一日当たり） 在籍者数21人 29年度平均利用者数（一日当たり）16.6人

○ 職員構成（支援体制）

- 1 所長兼管理者 1人(常勤・専従)
- 2 サービス管理責任者 1人(常勤・専従) ※社会福祉主事
- 3 職業指導員 2人(常勤・専従)
- 4 生活支援員 2人(常勤・専従) ※うち社会福祉士1人
- 5 目標工賃達成指導員 1人(常勤・専従)

○ 生産活動

当所における日中活動支援の主軸となるものは、利用者の「働く」活動への参加支援である。利用される方が、働く活動によって自己実現や生きがいを見出し、社会的役割や他者（仲間）との交流を実感できるよう個別のニーズに寄り添い支援した。

1) 下請作業（企業・団体からの受注作業）

作業内容	個別情報			
	会社名等	所在地	平成29年度売上げ	開始年
1) 菓子箱折、組立結束	(株)三協紙器	清水町	648,630円	平成3年
2) 点字名刺作製	NPOウォータービジョン	清水町	298,929円	平成12年
3) 鋳物・鋳型用具の作製	(株)木村鋳造所	清水町	1,081,200円	平成14年
4) レトルト製品包装	(株)山中兵衛門商店	清水町	4,798円	平成24年
5) トイレットペーパー	清水町	清水町	127,066円	平成25年
6) 町立図書館書架清掃	清水町	清水町	99,100円	平成25年
7) アルミカップ包装	河内アルミ	三島市	137,152円	平成27年
8) お土産シール剥し	(株)ニッタクス	三島市	15,320円	平成27年
9) 菓子箱折	(有)鈴木印刷製作所	伊東市	62,245円	平成28年
10) プラ部品組立	(株)川口化成	沼津市	338,396円	平成29年
計			2,812,836円	

2) 自主作業（作業所自主製品の製造・販売）

作業内容	平成 29 年度売上げ
1) 縫製品 （ポーチ、巾着バック、絵本バック、子育て支援センター用名札、刺し子、防災用黄色いハンカチ等）	1, 606, 870円
2) 固形石鹸（仕入包装）	

※ 自主製品の販路

店舗販売	①作業所玄関フロアー	
	販売委託	②“とも”沼津店（沼津商連会館ビル内）
		③清水町こども交流館
		④清水町子育て支援センター
地域イベント 参加出店 （地域交流事業）	4月15日（土）	・柿田川みどりまつり
	7月2日（日）	・清水町舞踊まつり
	7月22日（土）	・長沢区夏祭り
	9月23日（土）	・歌声フェスタ
	10月20日（木）	・西幼稚園 PTA バザー
	11月19日（日）	・ふれあい広場
	11月25日（土）	・農業祭、消費生活展
配布品・記念品	①柿田川みどりまつり（ポーチ・縫製品）	4月
	②舞踊の会（ポーチ、手ぬぐい、コースター・縫製品）	7月
	③長沢区夏祭り（ハンカチ、ショルダー、その他・縫製品）	7月
	④くらし安全課（防災用黄色いハンカチ・縫製品）	7月
	⑤清水西幼稚園バザー（名札、ショルダー、その他・縫製品）	10月
	⑥ふれあい広場（リース、手ぬぐい、ポーチ、その他・縫製品）	11月
	⑦清水町農業祭（リース、手ぬぐい、ポーチ、その他・縫製品）	11月
	⑧障害者週間該当キャンペーン配布品（巾着、縫製品）	11月
	⑨新一年生記念品（絵本バック・縫製品）	3月

3) 喫茶室“せせらぎ”出店

①店舗開店数（来客者延人数）	169日（2, 891人）
②定例民児協（3役会含）への出張販売	18回
③地域イベントへの参加出店	7回
平成 29 年度売上げ	1, 019, 150円

○ 利用者工賃

作業収入より原材料等の必要経費を控除し以下の方法により支払いをした。

- ・月工賃 毎月1回（月末締め翌月15日払い）
- ・ボーナス 年3回（8月、12月、3月） 作業収入の状況により調整して支給した。

平成 29 年度利用者への工賃支払い総額	3, 073, 175円
----------------------	--------------

○ 選択活動

利用者が自ら選択し主体的に参加する趣味的余暇活動を支援した。

活動内容	実施回数	実施場所
①パソコン学習	24回	柿田川作業所
②音楽療法	9回	柿田川作業所
③スポーツ&ストレッチ	4回	清水町体育館
④イチゴ狩り	1回	三島市
⑤東部ふれあいスポーツレク	1回	天城ドーム
⑥クリスマス会	1回	清水町福祉センター

○ 社会体験活動

利用者の経験のフィールドを広げるため、社会体験レクレーションを実施した。

実施活動名	実施月日	場所
企業の現場見学とさくらんぼ狩り	6月2日	リニア見学センター、ワイン工場とJAいわで農協
企業の現場と海の生物の見学	11月2日	八景島シーパラダイスとカップヌードルミュージアム

○ 地域交流活動

柿田川作業所に期待される機能として、利用者の地域社会への参加と交流が求められている。そのため、特別支援学校や看護学校等に福祉体験の場と民生児童委員、清水町女性連絡会や地元中学生など地域の方々にボランティア活動体験の機会を提供し、さらに地域イベントへの積極的な参加と自主企画の地域交流イベントを実施した。

団体	ボランティア内容	実施日・人数
① 清水町民生児童委員協議会	下請作業・縫製作業等	毎月第3金曜日 (各3名)
② 清水町民生児童委員協議会 障害者福祉部会	アルミカップ包装、菓子箱折り等	11回(各3～4名)
	春の社会体験同行、交流	6月2日(5名)
	秋の社会体験同行、交流	11月2日(5名)
③ 清水町民生児童委員協議会 地域福祉部会	調理実習手伝い、交流	毎月第4木曜日 (各4名)
④ 清水町女性連絡会	巾着袋作成等	毎月第2、4金曜日 (各5～6名)
⑤ 教職員(清水町内)	初任者研修	8月3日～4日 (述べ8名)
⑥ 教職員(清水町内)	10年研修	8月9日～10日 (述べ2名)
⑦ 清水中学校・南中学校	夏休み中学生ボランティア	8月21、24、25日 (述べ6名)

⑧ 清水中学校特別支援学級	職場体験	5月12日(4名) 9月5日(4名) 10月17日(5名) 2月14日(4名)
⑨ 沼津特別支援学校	現場実習	7月3日～7月30日 (全10日述べ20名)
⑩ 沼津城北高校、伊豆中央高校	サマーショートボランティア	7月31日～8月7日 (全4日述べ12名)

※ 地域交流イベントの開催

イベント名	実施日	会場	参加人数
歌声フェスタ	9月23日(土)	清水町福祉センター	約200名
<p>三信福祉協会の助成金を活用させていただき、障害のある人もない人も“共に生きる”地域社会の実現のために、地域のみなさまと学び考える機会として、柿田川作業所の地域交流イベント「喫茶せせらぎ歌声フェスタ2017」を開催いたしました。</p> <p>フェスタでは、日大三島高校合唱部のミニコンサート、「歌声喫茶」の老舗である新宿「ともしび」の出前歌声喫茶の公演、作業所利用者(障害のある方)とのコラボ合唱などにより、会場のお客様と一体となって歌を歌いながら、楽しいひと時を過ごすことができました。</p> <p>日大三島高校の皆様には、合唱の後も最後まで参加していただき、歌声フェスタを盛り上げていただきました。</p> <p>ともしびによる歌声喫茶では、音楽リーダーの進行で電子ピアノやアコーディオン等の伴奏に合わせ、歌集を片手に誰もが口ずさめる唱歌や青春の歌を、声を合わせて歌い、約200人の参加者が子どもから高齢者まで楽しく交流できました。</p> <p>また、休憩時間には、1、2階ホールにて、喫茶せせらぎによる出前喫茶を出店いたしました。</p>			

○ 生活技能訓練

利用者が地域生活を継続するために必要な生活技能を高めるための指導援助を実施した。

①調理実習	3名ずつ、毎月第3木曜日に月交代で実施した。
-------	------------------------

○ 通常時活動プログラム

8:30	常勤職員出勤
8:30～9:20	送迎、環境整備、活動準備、休みの連絡受取
9:25	職員打合せ(出欠確認等)
第1作業室・作業棟 9:30～11:30	生産活動 相談支援 *活動グループごとにティータイム(15分)
第2作業室 9:30～12:30	生産活動 相談支援 *活動グループごとにティータイム(15分)
第1作業室・作業棟 11:30～12:30	昼食
第2作業室 12:30～13:30	昼食

第1作業室・作業棟 12:30~15:00	生産活動 相談支援 選択活動 (余暇交流・外出・学習・趣味等)
第2作業室 13:30~15:00	生産活動 相談支援 選択活動 (余暇交流・外出・学習・趣味等)
15:00~16:00	帰宅送迎
15:00~16:00	生産活動継続 *希望される方のみ、作業状況により実施 活動記録、ケース記録等の記入、作業工程の準備

○ 会議・集会・研修等

① 会議

支援会議 (ケース会議)

個別ケース検討及び活動プログラムについての話し合いを実施した。

毎月1回・・・支援会議の開催

毎日9時20分～・・・職員5分ミーティングの実施。

② 研修等

月 日	会議・研修名	会 場
4月21日	平成29年度静岡県作業所連合会・わ東部地区 会総会	ホテルサンバレー富士見
5月25日	新規食品営業許可証交付講習会	静岡県東部保健所
9月21日	目標工賃達成加算の遡及適用事務説明会	障害者働く幸せ創出センター

○ 通信『柿田川通信』の発行

選択活動の紹介や月間予定表、福祉のニュースを載せた通信を配布した。

○ 保護者会

利用者の家族で構成される保護者会の活動を支援した。

定期総会	5月25日 (役員会4月28日)
定例会・懇談会	8月25日・10月20日・12月21日・2月16日

7. 清水町指定特定相談支援事業（町受託事業）

「清水町相談支援事業所ゆうすい」は、障害のある方の福祉に関する様々な問題について、障害のある方やそのご家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供と障害福祉サービスの利用支援を行うほか、社会保障制度や社会資源の活用のために必要な助言等を行った。

また、自立した生活を支え、課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによるきめ細かな相談支援を必要とする方には「サービス等利用計画」を作成し、「モニタリング」によるニーズ変化の把握とサービス提供の見直しを行った。

こうした相談支援事業を効果的に実施するために、地域や圏域の協議会に参加し、関係機関との情報共有を図り連携を強化した。

基本相談（一般的な相談）	障害のある方やご家族の相談に応じ、情報提供や助言、事業所との連絡調整を総合的に実施。 （＊月別相談数は下記別表参照） 3,837 件
サービス等利用計画の作成	障害福祉サービスを適切に利用することができるよう、障害者のニーズや置かれている状況を勘案し利用計画を作成。 116 件
モニタリング報告書の作成	定期的なモニタリングを行い、利用者のニーズや環境の変化を把握し、必要に応じて「サービス等利用計画」や障害福祉サービスの見直しを実施。 209 件
サービス担当者会議の実施	障害福祉サービス事業所等と課題解決に向けた支援内容やそれぞれの役割、今後の支援の方向性を確認。 116 件
協議会への参加	地域の実情に応じて効果的に相談支援事業を実施するため、関連する諸機関とのネットワークの構築。困難事例検討。 地域事務局会議 4回 地域協議会 5回 圏域協議会運営会議 2回 圏域協議会 1回
研修等	障害特性や障害者の生活実態に関する知識と援助技術の研鑽及び相談支援専門員の資格更新のための研修に参加。 ・相談支援専門員現任研修 1名3日間 ・ひきこもり研修 1名2日間 ・重症心身障害児者ケアマネジメント対応研修 1名2日間

<別表> 相談月別相談数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	287	365	397	297	317	284	324	290	349	291	356	280	3,837
人数	79	67	76	60	69	78	70	67	69	68	79	88	870

8. 清水町地域活動支援センター事業（町受託事業）

清水町内在住の障害のある方に、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生産活動又は創作的活動の機会や社会的居場所の提供及び社会との交流の促進を図り、地域生活に必要な相談支援を適切かつ効果的に実施した。

実施については、地域及び家庭との結びつきを重視した運営を行い、関係市町、障害福祉サービス事業を行う者その他の保健医療・福祉サービスを提供する者等と連携して行った。

1 在籍利用者の状況

利用者 9人

(1) 障害内訳 精神科に通院している精神障害者8人（精神保健福祉手帳所持者6人）
その他1人(引きこもり者)

(2) 男女内訳 男5人 女4人

(3) 年齢内訳 20歳代2人 30歳代2人 40歳代3人 50歳代1人 60歳代1人

2 開所日

月曜日～金曜日（年末年始、国民の祝日は除く）

3 事業実施場所・時間

事業実施場所 清水町地域活動支援センター(福祉センター内)

開所時間 10:00～15:00（休憩時間12:00～13:00）

4 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	19	20	21	19	22	20	21	20	20	19	19	20	240
実利用数	3	4	4	6	6	6	4	5	4	4	5	4	55
延利用者数	48	61	43	36	67	62	57	50	51	48	37	45	605

5 活動支援内容

(1) 生産活動（働く活動）

福祉センター内の花壇の手入れ作業等

(2) 生活相談

障害福祉サービスの利用・就労・地域生活のニーズについて、当センターの指導員ほか相談支援事業所の相談員が対応し、家族との関わり方を含む人間関係の悩みや不安を個別に傾聴し助言した。

(3) 創作活動

お絵かき、部屋の飾り付け等

(4) スポーツ

キャッチボール、サッカーのパス練習等

(5) リフレッシュ

ギター演奏、外出活動、フリータイム等

9. 介護保険サービス事業（経営事業）

(1) 居宅介護支援事業

○ 居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所として、介護者及びサービス提供事業所との連絡調整、居宅介護計画（ケアプラン）の作成等を行い国保連へ給付管理及び支援費請求を行った。

○ 給付管理数・支援費請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
ケアマネA	37	36	36	36	37	37	36	35	32	28	28	29	407
ケアマネB	33	33	34	33	36	34	32	32	28	28	29	30	382
合計	70	69	70	69	73	71	68	67	60	56	57	59	789

○ 介護予防担当数・請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
ケアマネA	11	10	10	8	7	8	7	7	8	5	7	7	95
ケアマネB	4	4	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	52
合計	15	14	14	13	11	13	12	11	12	9	11	12	147

○ 総合事業担当数・請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
ケアマネA	0	0	1	3	3	3	4	4	4	5	4	6	37
ケアマネB	0	0	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	23
合計	0	0	2	4	5	5	6	7	7	8	7	9	60

○ 加算の請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
初回加算	2	2	1	2	4	4	0	1	0	2	2	3	23
退院・退所	1	1	1	0	1	3	2	0	0	0	0	0	9
二段階変更	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
入院情報提供	1	0	1	0	2	2	0	0	0	1	0	0	7

○ 研修会

研修内容	研修日
・ケアマネジャー連絡会	第3火曜日
・介護保険サービス提供事業者説明会	10月13日（金）

(2) 訪問介護・介護予防訪問介護（ホームヘルプサービス）事業

○ 訪問介護事業

介護保険の指定訪問介護事業所として身体介護、生活援助のサービスを提供した。

○ 介護予防訪問介護事業

介護保険の指定介護予防訪問介護事業所としてサービスを提供した。

○ 訪問介護事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	18	19	17	17	19	20	
派遣延べ回数	209	222	193	214	242	257	
派遣時間	182:48	208:53	180:57	196:42	214:04	222:31	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
利用者数	19	16	16	16	17	16	210
派遣延べ回数	217	186	176	162	189	213	2480
派遣時間	209:02	181:53	170:12	156:34	180:02	195:07	2298:45

○ 介護予防訪問介護事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	17	16	19	18	21	21	
派遣延べ回数	87	101	112	104	125	118	
派遣時間	90:16	107:33	116:41	105:58	136:42	120:21	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
利用者数	21	21	24	23	19	21	241
派遣延べ回数	116	118	116	124	103	136	1360
派遣時間	116:04	121:49	130:09	128:48	112:00	138:08	1424:29

○ ホームヘルパー勤務体制

月	常勤職員	非常勤職員	登録ヘルパー	月	常勤職員	非常勤職員	登録ヘルパー
4	4	0	2	10	4	0	2
5	4	0	2	11	4	0	2
6	4	0	1	12	4	0	2
7	4	0	2	1	4	0	2
8	4	0	2	2	4	0	2
9	4	0	2	3	4	0	2